

令和4年度

第1回

教育課程編成委員会報告書

於：令和4年8月

学校法人長野県理容美容学園

長野理容美容専門学校

第1回教育課程編成委員会 議事書

日時：令和4年8月8日（月）9：30～

場所：オンライン開催

出席者：s o r a 伊藤秀一先生 スタジオ エーワン 小出誠司先生
松林校長 柏原教務主任 中澤主任

校長より

感染拡大の中、本校でも感染者が出ているため、今回は急遽オンラインとなってしまいましたが、ご協力ありがとうございます。教育課程編成委員会は主にカリキュラムやシラバスなど、教育内容に重点を置いています。自己評価については先にお渡ししました資料を参考にいただき、項目ごとのご意見ではなく、最後にまとめてご意見を頂戴いたします。新任職員の雇用促進と新任教職員の教育システムの構築について、また情報システムの導入の必要性などの話も出ました。新校舎で4月末からスタートして現在までの振り返りと共に、カリキュラムとシラバスについてご意見頂戴していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【議事】

1. 自己評価委員会、学校関係者評価委員会報告

（伊藤委員）

新入社員の指導が年々難しくなっている。学校も職員の指導が難しいと思う。繊細な人が多い。新入社員に気を付けていかなければいけないと感じることは、強めな言葉はいけない。丁寧な言葉遣いで伝える。初めはお客様のように接していかないとだめ。早川さんのご指摘の通り、在学中に知識として美容の仕事は楽しく輝かしいことばかりではないと伝えて頂くと、ギャップに悩まないのではないだろうか。また、コロナ禍で大会も中止になっていたが、今年は理美容甲子園地区大会が行われ、長野校ではしっかりと成果を出せている。感染対策をしながらの練習時間の確保など難しい面がたくさんあったと思う。それまでのノウハウが先生方や先輩たちに受け継がれ、コロナ禍で育った生徒にもしっかりと伝えて頂いたのだと思う。この学校へは美容師になりたくて来ている。コンテストへの取り組みも、美容師の楽しさややりがいの一つにつながっていくと思う。

（小出委員）

選択授業がより充実してきて、生徒にとって楽しくやりがいのある授業が増えていくことは、とても良いことだと思う。魅力的な選択授業を2つしか選べないのは、かなり厳しいのではないか。何とかもう少し学べる内容が増えるといいと思う。また、コンテストでは輝かしい成果を達成することができて、生徒の努力、講師のご指導、先生方のご指導、友達や家族の支えそれに対する感謝の思い。全て適切に行われているからこそなされたものだと思う。生徒たちの親世代は、共働きが多く、親たちは仕事と育児の両立をしてきた。従来のような子育ては難しく、省けることは省いていかないと生活していけない。今は多様化の時代で、それぞれの人の考えがあり、どれも間違えではない分、どこを省くかが本当に難しい。学校としてもこれだけ多様化に対応しているからこそ、省けることは省いていかないと、益々運営が難しくなると思う。学校としての方向性だけは外さないで、省いていく勇気も必要。

2、重点目標について

(小出委員)

整理整頓・挨拶・礼儀が自然にできる大人は素敵です。マスクの生活で笑顔がわかりづらいたが、マスクをしていても、鏡を見て研究してベストな表情を見つけられるとなおいいと思う。

『嘘をつく』『何かのせいにする』生徒に対し、問題視して指導していくことが大事。自己肯定感の低い人は比較的そういう傾向にあるようだ。その生徒に合った小さな成功体験の積み重ねを作っていくしてほしい。また、生活習慣が大事との事。睡眠、食事、運動など身体が資本で、日々の体調管理ができることも大人として必要な事。お互いモチベーションを上げるようにするなどのコミュニケーションを取り、心身ともに健康で充実した学校生活になるといい。

(伊藤委員)

専門的な知識と生活習慣のバランスはすごく大事。仕事は仕事、プライベートはプライベートと割り切っている若者が多い中、生活習慣の指導は難しい部分もあると思う。問題のある生徒の指導していく中で、表面化している事だけで指導していても、根本的な部分の解決がされていないと、同じような問題が引き続き起っていくようだ。担任の先生方も忙しい中だとは思いますが、なんでその子がそうなったのかという背景から理解し意見をしていけないと、解決していかないと。どこまで踏み込むかは本当に難しいと思う。また、日々進化している美容業界を担う美容師は何かにはチャレンジするという事はとても必要な事。生徒主体のインスタはだいぶ良くなっておしゃれになってきている。すごく良いことだと思う。

(校長)

オープンキャンパスで『どの情報からオープンキャンパスを知ったか』という質問に、『インスタから』という回答が多くなった。広報係の指導に当たっている中澤先生より、様子を報告して頂きたい。

(中澤委員)

広報係を今年から作ってみたが、校舎新築のため4月下旬からの新年度スタートで、本格的に動けたのが5月から。4月は1個、2個くらいしか投稿できなかったが、各曜日で各クラスに割り当てたところ、1日1投稿の目標が実現できた。回数を重ねるにつれて熱が上がっていき、よりおしゃれに投稿できるようにとそれぞれの生徒が工夫してくれている。4月から50名フォロワーが増えた。就活が忙しくなった2年生や、夏休みに入るという今は、少しお休みして、休み明けまたリールも入れながら、長野理美容の良さを伝えていこうと相談している。他校のティックトックのように、音楽に合わせてにぎやかに楽しそうだけをアピールするのは、本校の魅力とは違うかなと思っている。生徒の意見を聞きつつ魅力的で本校の良さが伝わる内容を投稿していきたい。

(伊藤委員)

美容師は発信力も大事で、特にインスタを上手に利用することは、すぐ役立つこと。1日1投稿はほんとに大変だけど、それが当たり前になっていると、美容師になってもあまり苦でなく取り組めると思う。

3、事業計画について

ヘアフェスティバルも無事に実施できている。たくさんの方が来校されてよかった。生徒たちにとって施術させていただける体験は有意義なもの。ヘアショーも引き続き感染対策を十分に行い、生徒にとって有意義な行事になるようにしてほしい。

4、カリキュラム、シラバスについて

(伊藤委員)

必須科目に関しては国家試験合格率を見ても問題ない。新校舎のシャンプー実習室が凄い。あれだけのシャンプー台が一気に使用できる施設はまずない。この環境で今回のシャンプーシラバスがしっかり確立できたと思う。それぞれのサロンのやり方はあるものの、ある程度しっかり洗えるようになってきているといい。技術者の気遣いがじかに伝わる技術であるため、シャンプーや特にヘッドスパを実習することでお客様への思いやりも培われると思う。サロン側はお客様への気遣いができる人は本当にありがたい。

選択授業のカラーは全員が学んでもいいのではないかと。ブリーチ技術は今のサロンの現場では必須。パーマでブリーチ毛に対して行うのはいい授業だと思う。

(小出委員)

カラー技術は頭皮への配慮、色の選別、薬剤の塗布量調整、時間など気を付けなければいけないことがたくさんあり、どれも欠けるとトラブルになりやすい。カラーは大変重要で繊細な技術であるため必須であると思う。選択授業は充実感ある内容で振り分けが大変だったと思う。新校舎でスタートしたばかりなので、様子を見ながら全員が学ぶものと選択授業や選択の仕方など、これからの生徒に合わせて検討していてもいいのではないかと。

5、職業実践専門課程の科目について

カット、カラー、メイク、ネイル、コミュニケーションどれも必要な科目である。コロナ禍で育った生徒であるため、特にコミュニケーションを重要視したほうが良いと思う。

企業とも連携できているのでこのままでよい。

6、生徒の現況

(中澤委員)

昨年度の仮校舎から、生徒が発明し工夫し自主性をもって取り組んでいけたので、今年の新校舎になってからも、オープンキャンパス係長、生徒会長が自主性をもって取り組み生徒を動かしている。学校行事を重ねるごとにその成長が感じられる。1学期が終了し各学年とも学科、実技の評価も円滑に行われ、生徒たちの自主性が成果として現われたように思う。

1年生は例年のように様々な生徒が入学し、1学年職員で統一指導に向け頑張っている。美容科119名入学して1名の休学者ということで、こちらも成果として現れている。一人一人の不安要素はまだたくさんあるが、このまま2年生に良い方向に引きずられながらも意欲をもって取り組んでほしい。昨日の修学旅行では、保護者からの心配の声はあるようだったが、生徒たちが楽しみにしており、感染対策を充分にして行ってくるからと生徒が保護者を説得しているようだった。それぞれに学びがあり、生徒の団結力は高まったのではないかとと思う。

ビューティビジネス科は、検定試験も入ってきて忙しい時期にもかかわらず、どの行事もしっかり参加し、資格取得もできている。1、2年生共に頑張っている。

新校舎スタートの不安は職員の方が強く、生徒は生き生きと楽しんでいるようだ。これから1年生美容科は本格的にシャンプー実習に取り組んでいく。1学期少しやってみたところ、水も垂らさずネープもしっかり洗えるので、現代人は生活様式の変化でシャワーを使いこなせるんだなあと思った。

(小出委員)

生徒が入る前の新しい校舎を見学させていただき、大変恐縮だったのですが、至る所に新しい設備やアイデアがあり、現場の雰囲気を感じられた。6階のステージもヘアショーや技術講習会を行うに素敵だろうと感じた。アーティスティックルームもサロンをイメージしやすい。この新しい校舎の中、新鮮な気持ちで整理整頓、後片付け、ものを大切に扱うという気持ちを育ててほしい。

(伊藤委員)

入学される方のモチベーションの差はだいぶあると思うが、先生たちはよく考えられて指導されていて、休学者1名という成果が出ていると思う。

就職活動は例年に比べて遅いと思うが。

(柏原)

4月末のスタートだったので、全体的にだいぶ遅くなってしまったが、就職ガイダンスなどでも喚起することができたのか、ここにきて内定を頂きだしている。都内有名店の内定を頂いている生徒もいれば、県内サロンの内定者もだいぶ増えてきた。秋までには内定を頂けるように動くよう指導している。

(校長)

昨年度、仮校舎でお昼の時間の外出許可や、来るまでの登校は申請なしで良しとしている。先ほど、『嘘をつく』『何かのせいにする』生徒について話が出たが、何かしてしまったときに素直に認める姿勢も見られる。仮校舎の商店街と違い、民家の多い中で自由を与えることは心配であったが、今のところ苦情などなく過ごせている。こちらにも信じる姿勢が大事だと思う。

7、業界について

(伊藤委員)

コロナ禍であるが、コンテストや集会などは感染対策をしっかりとやって実施する方向となっている。怖がりすぎでは先に進めない。ここ2～3年は集まることはやめていく、コミュニケーションの取りづらい世の中で、そんな中育ってきた生徒たちが、コミュニケーションが必要な世界に入っていく。お客様とコミュニケーションが取れない。繊細である。心の病にかかってしまう。向いていないから辞めるという構図ができないようにしないといけない。

(小出委員)

組合と美容商事で行っているヘアショー及び技術コンテストは、7月種目を絞ってキッセイ文化ホールで行われた。留袖着付、まつ毛エクステンション、ヘアスタイル、カット&ブロー全国大会は11月8日、群馬県で行われる。感染対策をしっかりと行って、可能な限り実施していく。

校長より

委員の先生方からの様々なご意見、有難うございました。夏休み明け3年ぶりにヘアショーが行われます。休み中に友人や離れて暮らしていた家族などに会う機会も多いと思いますが、感染対策を徹底して実施して参ります。

次回予定 第2回教育課程編成委員会 令和5年3月7日10:30～